



わかば

参観懇談会開催！



去る5月7日・14日・21日に参観懇談会を実施致しました。子ども達の学校での様子を見ていただく貴重な機会に、ご多用の中、多数の保護者の皆様にご参加頂きありがとうございました。学校への関心の高さと期待を感じました。

授業参観では、教室でのお子さんの様子はいかがでしたでしょうか。ご家庭では見られない、学校ならではのお子さんの姿を発見された方もいらっしゃるのではないかと思います。同級生や友達の中ではたくましさを発揮する子ども、家庭での元気のよさが影を潜め学校では目立たずおとなくなる子ども等、学校では保護者の知らない一面を発見することもあります。

子ども達は、学校でたくさんの仲間と触れ合いながら色々な事を学び、どんどん成長していきます。年度の終わりに振り返った時、一人ひとりの子ども達の成長が実感できたら素晴らしいと思います。

お子様の学習の様子で気になることがありましたら、遠慮なく学級担任にご相談ください。学習ばかりではなく友達関係での悩みや不安にもじっくり耳をかたむけていただけるとありがたく思います。

授業参観の後、各教室で懇談会を実施しました。現在、事務局を通して学級懇談会の記録書が集まっています。集められた記録書はまとめられ、今後の学校運営に生かされることとなります。

質疑・応答の場面で出された内容のうち、その場で回答することが難しかった事柄や、全体にお知らせしたほうが良いと判断される内容については、後日学校だより等でお知らせいたします。

一時帰国・体験入学について

この時期になると一時帰国届を提出される方が少しずつ現れ、その際、日本の学校で体験入学を計画されていることを、よくお聞きいたします。日本語環境に身を置き、日本文化を直接体験することは大変有意義であると思います。日常の国語・算数（数学）の学習の成果を実感する良い機会です。日頃本校では学べない教科を学習し、給食や清掃などを体験できるからです。しかし、学習面では不安があります。体験入学をするためには、日本人学校の学習を中断して一時帰国しなければならず、そのための学習の遅れをどのように補うか考えておく必要があります。一時帰国や体験入学の一長一短を考慮し、十分な対応をお願いします。

なお、体験入学希望者への対応は市区町村の教育委員会（学校）によって異なりますので、断られる場合もあります。また、傷害保険等への加入を求められたりしますが、これは、日本では毎年4月に全員が保険に加入していて、この保険には体験入学者は加入できないため、自己責任での加入を求められます。また、物品の破損や誰かにけがをさせた場合には過失の割合に応じて治療費や慰謝料等が請求されたりすることもありますので、体験入学の期間は保険に加入されることをお勧めします。

以下は、長期欠席期間の家庭学習についてまとめたものです。ご協力をよろしくお願いいたします。

①長期欠席期間について、早めに担任へ連絡します。

※一時帰国届、欠席・早退・欠課・遅刻届は、カフェテリアの掲示板横のワゴンにあります。学校ホームページからもダウンロードできます。

②長期欠席のための家庭学習（宿題）を受け取ります。

※長期欠席に入る前に担任より、欠席期間中の教科書進度予定、副教材を使用した宿題（新出漢字の練習、作文、日記、教科書音読）等、家庭学習の内容が記載されたものを配布します。

③長期欠席のための家庭学習（宿題）に取り組めます。

※進捗確認のために、懇談会でお渡しした『年間指導計画』をご参照ください。

★家庭学習（宿題）はご家庭にてチェックをお願いします。

（必要に応じて解答を配布しますので、長期欠席中の学習に役立ててください。）

★毎回出される通常の宿題（特にプリント類）は、長期欠席者の増加により対応が難しく前渡しできません。休み明けに後渡しとなりますので、長期欠席明けの家庭学習（復習等）に役立ててください。尚、後渡しの宿題については提出の必要はありません。

④長期欠席が終わった後欠席によって受けられなかったテスト等を受けます。

※長期欠席中に実施されたテスト等については、必要に応じて後日実施します。

児童生徒の作品より

小学部 2年1組 森 まいか

「カレーライスを読んで思った事」



春がいつばい

なまえ 森 まいか

さくら

三月、学校のまえで

まんかいのさくらを

見ました。きれいなピン

クの花だとおもいまし

た。だけど、あっといま

にちてしまいました。

6年2組 石井 理奈

私は、カレーライスの中に出てくるひろしととても似ています。まず、私とひろしが似ているところは、おこられたり、けんかをしたりした時、いつもすぐにあやまれないところです。いいたくても、口から声が出なくなってしまい、あやまるチャンスをのがしてしまうのです。何かを言いたくても、言えないところもひろしと似ていると思います。おこられた時、何かを言うと、いつも、



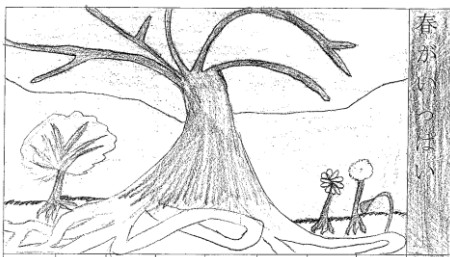
「くちごたえしないで！」

とさらにおこられてしまうから、わたしは、何も言えなくなるのです。でも、一つだけひろしとちがうところがあります。それは、口に出さなくても、心であやまることができるからです。あやまろうという気もちがあったから、仲直りができたのだと思います。

私にはひろしみみたいなやり方で仲直りするのはまだむずかしいと思います。だから、わたしは言葉であやまることをがんばります。

小学部 2年1組 が けいな

「目標」 中学部 2年 濱口 峻生



春がいつばい

なまえ が けいな

さくら

四月のはじめに、さ

くらを見ました。いっ

ぱいさいいていてきれ

でした。おちていた花び

らで、あそびました。日本

のさくらを見たいで

す。

僕は、この中学2年生の間に中学1年の時にできなかったところをしっかりと直したいと思います。

まず一番目は、時間の使い方です。これをするためには、朝早く起きることと、勉強をする時には集中して、できるだけ短時間で終わらせることです。

二つ目は、授業中の態度を直したいと思います。これは、僕が幼いころからいつも注意されているので、中学2年生の間にけりをつけてみせます。

中学2年生という学年は、もう中学生活にもなれてくる時期なので、たくさん思い出も作りながらもいろいろ自分の悪いところを直していきたいと思っています。